

アプリケーションノート 3. 作物の植物病診断

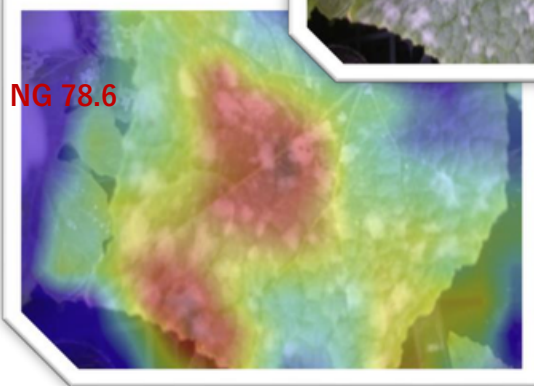
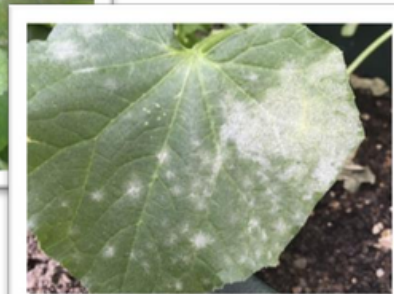
データ収集の困難さ

データ収集の困難さ

菌やウイルス、虫や地域などで感染する様々な作物のデータを収集するのは、とても困難です。また、多くの生産者がいても、データを収集していない、公開されたデータが少ないという問題があります。

病気の特徴の多さ

人間による目視試験は、労働時間により正確さの欠如や病気の種類の多さから見逃しが出てしまいます。作物の病気を見逃している場合もあり、病気が進行して作物の廃棄、生産者の負担を増やしてしまいます。



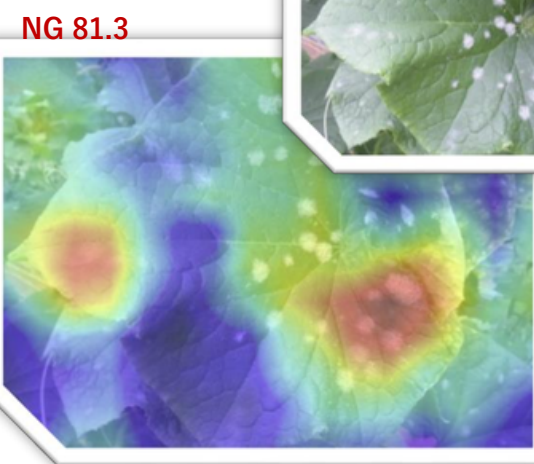
ディープラーニングの利点

検査の精度が高い

ディープラーニングでは、実際の人間による検査と同等の水準で判定し、しかも検査には一貫性があり、ヒューマンエラーがありません。また、データを蓄積し学習をしていくことで、さらに精度を上げて検知することができます。

生産者の負担を削減

ディープラーニングによって検査が自動化されることにより、病気に効果的な対策をとることができます。これにより、生産者の負担を減らすことが可能になるため、工数削減につながります。



ADSTEC

株式会社エーディーエステック

〒273-0025 千葉県船橋市印内町568-1-1

Tel 047-495-9070 Fax 047-495-8809

<http://www.ads-tec.co.jp>

e-mail: sales@ads-tec.co.jp